

## ディーセント・ワーク

ディーセント・ワークの実現はILOの第一義的な目標として、1999年の第87回ILO総会において、ソマビア事務局長報告がなされ参加者から承認されたもので、同報告によれば、「権利が保護され、十分な収入を生み出し、適切な社会保護が供与された生産的仕事」(下記書籍「ディーセント・ワーク」p.15)を意味するとされています。



ILO自身のディーセント・ワークに対する日本語資料が、ILO東京支局から出版されていますので、この紹介をします。

「DECENT WORK (ディーセント・ワーク) ~働く価値のある仕事の実現をめざして~」

翻訳発行：ILO 東京支局 定価 2,000 円

内容は第 87 回 ILO 総会 (1999 年) 事務局長報告です。

「ディーセント・ワークの達成に向けて : 地球的な課題」

発行：国際労働機関 (ILO) 事務局 定価 1,500 円

内容は第 89 回 ILO 総会 (2001 年) 事務局長報告です。

また、「生活協同組合研究 309号 2001年10月」(生協総合研究所発行)に、ILO駐日代表堀内光子氏の論文「ディーセント・ワーク 今日的課題」が掲載されています。(なお、この論文は同研究所のウェブサイトからPDFファイルで取り出すことができますようになっていました。<http://www.co-op.or.jp/ccij/Books/200110horiuchi.pdf> (1月16日現在))